

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (03-07)

団体名	(特非) ニュー☆ハリマ	代表者名	代表理事 在間 夢乃
事業名	チャレンジしにくい町のチャレンジショップ作り		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容(勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
毎月1回	ニュー☆ハリマ 図書室	本棚オーナー数名 (2)	本棚オーナーミーティング
毎月1回	ニュー☆ハリマ 図書室	(4)	事業運営会議
8月 2,3日	ニュー☆ハリマ 図書室	町民など4 (2)	チャレンジショップスペース設営
8月 30日	ニュー☆ハリマ 図書室	町民など4 (1)	チャレンジショップスペース仕上げ
9月 毎週木曜日	ニュー☆ハリマ 図書室	出店者1名	テスト利用開始/仕組み・スペース改善
10月-2月 毎週木曜日	ニュー☆ハリマ 図書室	出店者1名	本格活用開始/出店者募集
10月-2月 随時	ニュー☆ハリマ 図書室/SNS	出店希望者7 (1)	チャレンジショップスペース利用希望の問合せ/見学
12月1日	ニュー☆ハリマ 図書室	出店者1 (1)	チャレンジショップスペース改善
1月5日	申込フォーム	出店希望者1 (1)	出店希望申し込み
2月20日	ニュー☆ハリマ 図書室	出店希望者1 (2)	新規出店者面接/4月より毎週火曜日出店決定

<効果と成果>

9月から翌年2月まで、チャレンジショップの利用出店は1件のみであったが、固定曜日にショップを開くことで出店者のショップ認知度は上がり、新しい客層へのアプローチも可能となった。また、町内での集いの場となり、毎週訪れている人もいた。

10月よりInstagramやニュー☆ハリマ図書室にてチャレンジショップ利用者募集の広報を開始した。利用・出店に関しての問い合わせは、Instagramにて4件、見学にて3件、うち申し込み数は1件であった。チャレンジショップでの出店希望として問い合わせのあった内容は、サンドイッチなどの飲食物提供やアロマを使った体験ショップであった。

1月に申し込みのあった1件は、2月に面接を経て3月にテスト利用、次年度4月より毎週出店を予定している。

<今後の展望>

課題として、飲食物提供の場合、各自で営業許可を取得する必要があるため、興味はあるものの利用に至るまではハードルの高さがある様子だった。また、利用者募集をInstagramやニュー☆ハリマ図書室での広報のみとしていたため、情報を得られる層が限られてしまっていた。

今後、引き続きチャレンジショップの活用を続け、多くの人に関わるきっかけ作りを進める。また、広報手段を増やし、ターゲットである播磨町内でチャレンジしたい人により届くように工夫する。営業許可に必要な手続きに関するアドバイス、先輩チャレンジショップとの情報交換機会提供などのコーディネートにも取り組む。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	300,000
事業収入	35,500
自己資金	134,158
合計	469,658

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経費	人件費	110,000	50,000
	消耗品費	20,031	20,000
	材料費	202,627	100,000
	講師謝金	66,000	60,000
	その他(旅費交通費等)	11,000	10,000
	小 計	409,658	240,000
間接経費(一般管理費)		60,000	60,000
合 計		469,658	300,000